

# 北海道新聞

発行所  
北海道新聞社  
郵便番号 060-8711  
札幌市中央区大通西3-6  
電話 011(221)2111  
©北海道新聞社 2005

## 深川支局 新築記念号

### 深川支局沿革

戦時統合により北海道新聞社が  
発足した一九四二年(昭和十七年)、  
深川町(当時)本町六に創設された。  
一九四九年十一月、蓬萊町六に移  
転。さらに六六年七月、二条六番に  
移転した後、八一年十月、現在の地

### にもととの歴史 読者との歴史 63年

五条一五番に移った。  
老朽化のため全面改築すること  
となり、四条八番に一時移転。完成  
を受けて二〇〇五年十一月二十六  
日、転居先から戻った。新支局は、  
二階建て延べ二百三十六平方

# 新深川支局が完成

## 落成披露、100人が祝う

【深川】建て替え工事を進めてきた北海道新聞深川支局が完成し十一月三十日、新支局落成披露パーティーが深川市内のプラザホテル板倉で開かれました。百人を超える出席者が新しい北空知の取材拠点の誕生を祝いました。



北空知の取材拠点が一新されたのを祝う深川支局の落成披露パーティー

新支局は、旧支局跡地に  
建ち、住所は以前と同じ五  
条一五番一号、電話(01  
64・222・2838)、フ  
ァクス(222・3679)  
も従来通りです。  
木造二階建て、一階が事  
務室、二階が支局長住宅と  
なっています。事務室は北  
海道新聞社の支局では初め  
て完全分煙となり、壁で仕  
切った喫煙スペースを設け  
ました。

深川支局は六月から、市  
内四の八の旧林時計店を仮

事務所としていましたが、  
二十六日に新支局への移転  
を終えました。

パーティーには、北空知  
一市六町から市町長や議  
長、商工関係者らが出席し  
ました。北海道新聞社を代  
表し、新蔵博雅常務編集局  
長が「深川支局は北空知の  
息づかいを伝えようと決意  
を新たにしています。地域  
に元気を与える記事をどん

どん発信していきたい」と  
あいさつ。  
河野順吉深川市長が「こ  
の地域には誇れる農産物が  
あるが、厳しい時代を迎え  
ています。一市六町も努力  
を続けるが、引き続き北空  
知のために情報発信に  
努めてほしい」と祝辞を述  
べ、川中裕深川市議会議長  
の乾杯で祝宴が始まりました。  
祝宴では、菊地信支局  
長が深川支局の思い出話を  
披露し、最後に芳賀昭雄深  
川商工会議所会頭の乾杯で  
パーティーに先立ち、設  
計を担当した北海道建築総  
合研究所(札幌、建設担当  
の寺岡工務(深川)に感謝  
状を贈りました。

## 26日から業務を開始

本支局は、旧支局跡地に  
建ち、住所は以前と同じ五  
条一五番一号、電話(01  
64・222・2838)、フ  
ァクス(222・3679)  
も従来通りです。  
木造二階建て、一階が事  
務室、二階が支局長住宅と  
なっています。事務室は北  
海道新聞社の支局では初め  
て完全分煙となり、壁で仕  
切った喫煙スペースを設け  
ました。



完成した深川支局。大きな青い看板が目印

支局長  
菊地 信(39)

七月に着任しました。こ  
れまで稚内  
や函館など  
漁師マチで  
は勤務しま  
したが、北空  
知のような農業地域は初め  
て。生まれ故郷の網走管内  
丸瀬布町(現遠軽町)も山  
の中ですが、稲作はなく、  
深川に来て初めてともい  
べき「出来秋」を堪能しま  
した。新支局を拠点に北空  
知をさらに深く知りたく  
と思っています。みなさん気  
軽にお立ち寄りください。



支局員  
中村征太郎(28)

本社編集本部から深川支  
局に赴任し  
て一年四カ  
月。取材で初  
対面の方に  
名刺を出す  
と「ああ、あなたが征太郎  
さんですか」と言われるこ  
とが多くなりました。空知  
版では書いた記事の末尾に  
記者の署名が入るためです  
が、何気ない一言でも「記  
事が読まれている」と励み  
になります。今後とも町おこ  
しを応援し、皆さんに読ま  
れる記事を書いていきま  
す。



# 空知の取材、1総局・5支局で



1949年に新築した当時の  
深川支局

南北に長く、広大な空知管内。二十七ある市町村の取材は、岩見沢総局(八人)をラロックセンターとして、深川(二人)、滝川(三人)、芦別(一人)、栗山(一人)、夕張(一人)の五支局、総勢十六人が取材を担当しています。

## 深川は1市6町カバ―

このうち深川支局は、北スのほか、朝刊には「そらの深川市、妹背牛町、ねっと」「空知人」「空知から秩父別町、雨竜町、北竜町、いしゃ手帳」「そらち文芸」、沼田町、幌加内町の一市六町が取材範囲です。  
空知の読者には平日、朝刊三ページ、夕刊一ページの「空知版」をお届けしています。地域密着のニュー「そらちぶらり旅」など空知のさまざまな表情を紹介する特集、連載記事を数多く掲載しています。

1966/10-1968/9	中山 一紀
1968/9-1970/4	小田切良三
1970/4-1973/4	蛭子 郁夫人
1973/4-1976/2	佐藤 正人
1976/2-1978/4	千龍 正夫
1978/4-1980/2	遠藤 雅之
1980/3-1983/2	永井 健
1983/3-1986/4	浜田 稔
1986/4-1989/4	土江 富雄
1989/4-1991/4	島倉 朝雄
1991/4-1993/2	高橋 力
1993/3-1996/2	弓場 敬夫
1996/3-1999/4	塚本 博隆
1999/4-2002/2	高橋 俊樹
2002/3-2004/6	合津 和之
2004/7/1~	中村征太郎

## 歴代支局長

1942/11-1943/1	山本 勝治
1943/2-1946/5	益田 義武
1946/6-1947/9	立岩 含
1947/10-1949/2	山口 満治
1949/3-1953/3	億貞 武雄
1953/3-1955/3	河崎 清
1955/3-1959/4	大音 達夫
1959/4-1963/2	熊崎 馨
1963/3-1965/2	伊藤 弘義
1965/2-1969/2	斉藤 安政
1969/2-1971/9	米沢 芳隆
1971/9-1975/7	三浦 正義
1975/8-1979/2	中村 昭
1979/3-1984/2	村住 博之
1984/3-1986/2	高田 愿
1986/3-1990/2	高橋 昭夫
1990/3-1992/2	渡辺憲次郎
1992/3-1993/6	三浦 正義
1993/7-1995/8	伊藤 起夫
1995/9-1998/2	花田 政幸
1998/3-2000/8	戸坂 良夫
2000/9-2003/2	本村 龍生
2003/3-2005/6	松浦 真一
2005/7/1~	菊地 信

## 歴代支局員

1950/9-1952/11	山名 康郎
1952/11-1956/4	柿原 林平
1956/4-1958/3	布施 俊幸
1957/4-1961/3	鈴木 逸夫
1961/3-1963/4	石沢 昭義
1963/4-1966/10	東 功
1963/4-1965/4	真野 育朗
1965/4-1966/9	立野 英雄

## 取材・宣伝車 ぶんぶん号 号外、現地で素早く



北海道新聞社の多目的取材・宣伝車「道新ぶんぶん」号は、二〇〇四年八月に誕生しました。全国の地方紙に先駆けて誕生し、今では仲間が四社五台に増えています。  
その名の通り各地をブンブン駆け回り、号外や記念新聞を読者に届けてきました。プリンターやパソコンのほか、電気の止まった被災地でも活動できるように発電機を搭載し、昨年の新潟県中越地震では、新潟日報社の要請を受けて出勤し、避難住民に生活情報や明るい話題を

### お近くの北海道新聞販売所

岩橋販売所	深川市納内町2-2-20	Tel. (0164) 24-2453 fax. 24-2453
倉本販売所	深川市4条7番32号	Tel. (0164) 22-3330 fax. 26-2080
塩崎販売所	深川市多度志112-1	Tel. (0164) 27-2606 fax. 27-2606
高田販売所	深川市鷹泊192-1	Tel. (0164) 28-2138 fax. 28-2138
長谷販売所	妹背牛町妹背牛376-4	Tel. (0164) 32-2128 fax. 32-3100
早川販売所	秩父別町1308	Tel. (0164) 33-2808 fax. 33-3848
有馬販売所	北竜町和3-1	Tel. (0164) 34-2415 fax. 34-2811
佐崎販売所	北竜町碧水67-1	Tel. (0164) 34-2700 fax. 34-2700
墓田販売所	沼田町本通3-3-13	Tel. (0164) 35-2618 fax. 35-2618
後藤販売所	幌加内町幌加内	Tel. (0165) 35-2913 fax. 35-2914
古平販売所	幌加内町政和第二	Tel. (0165) 37-2482 fax. 37-2482
大西販売所	幌加内町朱鞠内	Tel. (0165) 38-2025 fax. 38-2025
三木販売所	雨竜町市街	Tel. (0125) 77-2136 fax. 77-2136

道新販売所はこのまちの元気を応援します。

道新販売所では、空き缶のリングプルを回収し車椅子と交換施設や団体に寄贈する活動を行っています。

届けてきました。これまでの出勤は延べ四十二回、距離にして一万二千キロを踏破してきました。  
ぶんぶん号は、カラープリンター、モノクロ印刷機を各二台搭載し、カラー紙面ならA4判を最大で毎時二千部、モノクロならA3判一万二千部を製作できます。  
今後多くのお出合いを求め、全道を駆け回ります。見かけたらどうか応援してください。

北海道の「食」を徹底的に掘り下げる、新・生活文化情報誌

## 北海道百科

Vol.6「食」

道産食材はうまい!!

チノワイフ・オム・ジンギスカン

A4変型判・202頁 定価940円

## 道新 受験情報

2006高校大試 志望校決定の手引き

B5判・200頁 定価700円

## ファイターズ2005

オフィシャルオフィシャル

A4判・104頁 定価940円